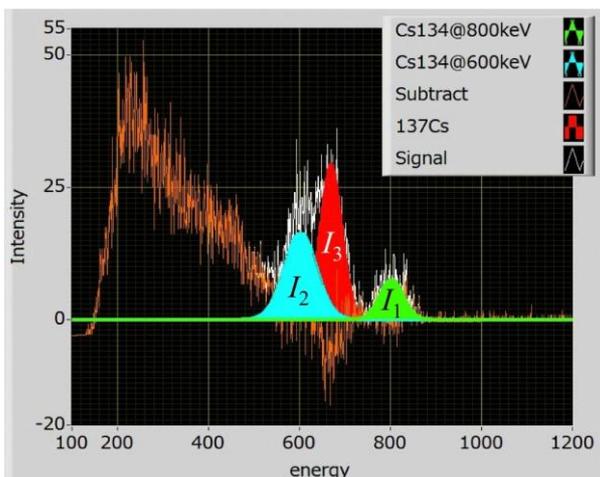


●携帯型放射能計測器の開発

2011年3月11日の東日本大震災によって引き起こされた福島第一原発事故以来、放射能(放射線)の健康への影響が懸念されています。しかしながら、現行の放射線計測器は、専門的知識が必要不可欠かつ高価であり、誰しものが利用できる訳ではありません。本研究では、環境放射線および食品に含まれる放射能を、高精度かつ簡便に測定できる小型の放射線測定器のシステム開発をしています。一般的なCsIシンチレーションカウンタに、位置情報記録機能やスペクトル分析機能を付与した Smart Becquerel Counter の試作・実用化を図っています。



小型軽量放射線計測器の外観。食品等の放射能測定時には、環境放射線遮蔽用の鉛容器内で測定を行います。



放射線スペクトル分離画面。白線のスペクトルから、 ^{134}Cs と ^{137}Cs 由来のピークを抽出するソフトウェアを開発・実装しています。